

## 圏域の課題・方向性について

～ 平成 26 年度第 1 回共生ビジョン懇談会（9 月 2 日開催）での御意見

### 人口減少、特に社会減の増への対策の検討が必要

#### 【医療・介護・福祉】

- ・ 休日当番医（若い医師）の確保
- ・ ドクターヘリの運用
- ・ 高齢化・独居高齢者の増に対応するための「生活困窮者自立支援」の取組
- ・ 認知症等の自立支援のための「成年後見センター」の充実
- ・ コミュニティの再生に向けた、地域の実情に即した地域福祉のあり方の検討（共生型福祉施設を核とした住民協働など）
- ・ 「ソーシャル・ファーム（障害者などの社会的雇用）」の取組
- ・ 「日常生活自立支援」の取組
- ・ 地元で最期まで自分らしい暮らしができる「地域包括ケアシステム」の構築
- ・ ICT を活用した医療・介護の連携体制の確保

#### 【産業振興（雇用・起業等）】

- ・ （特に若者に向けた）雇用の場の確保・維持
- ・ 起業支援などの促進策
- ・ アントレプレナーシップ（起業家精神）を育てる仕掛けづくり
- ・ 地場製品の発掘・PR

#### 【広域観光】

- ・ 倶知安・ニセコとの連携を視野に入れた取組
- ・ 新たな観光資源の発掘
- ・ ICT の活用を通じ、食と観光をグローバルな観点でブランド化
- ・ 地域の歴史を背景とした「オンリーワン」の発掘、観光と連携したPR

#### 【地域公共交通】

- ・ 地域公共交通の維持
- ・ 広域交通とコミュニティバスとの連動のための「交通アクセス実態調査」の取組
- ・ 交通空白地帯における過疎地有償運送の取組
- ・ 通勤・通学、高齢者等の移動手段を含めた公共交通の利便性の充実

#### 【移住・交流】

- ・ 新規就農者獲得に向けた取組
- ・ 圏域 6 市町村のネットワークづくり、情報共有のシステムづくり

#### 【その他】

- ・ 地元愛の醸成など、若者が住みたくなる仕組づくり